

名古屋市議員 活動報告②6

田山ひろゆき



【木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針】

基本的な考え方

- 本事業は、歴史時代の建築物等の遺跡に基づき当時の規模・構造等により再現する「歴史的建造物の復元」を行うものである。市民の精神的基柱であり、誇りである名古屋城の天守閣を、悲しい歴史的史実を経て、昭和実測図や金城温古録等、豊富な歴史資料に基づき、戦災で焼失する前の本物の姿に復元すると世界に主張するものである。従って過去の天守閣と今回の木造復元の同一性について歴史的な分断を感じさせない復元を成し遂げる事が、事業の価値を決定づける大きな要素となる。
- 50～100年で再度「国宝」になることを目指す。
- ゆえに、史実に忠実な復元を確保した上で、まず、2022年の完成時期に、その先においても世界の模範とされるべき改善を重ね、観覧、体験、バリアフリー環境を整備するための付加設備とする。

エレベーター

- 内部エレベーター／柱、梁を傷めないものとして、史実に忠実に復元する天守閣とするためにはバリアフリー法の建築物移動円滑化基準に対応するエレベーターは設置できない。
- 外部エレベーター／都市景観条例を定めて、名古屋城の眺望景観の保全を図ることとしている。天守閣の歴史的な外観を損なうことから、外部エレベーターは設置しない。

基本方針

- 新技術の開発などを通してバリアフリーに最善の努力をする。
- 例えば、昇降装置を有する特殊車両を応用し、外部から直接出入りすることや、ロボット技術を活用し、内部階段を昇降することなどが挙げられる。併せてVR技術を活用した体感施設の設置を行う。
- 新技術の開発には、国内外から幅広く提案を募る。
- また、協議会を新たに設置し、障害者団体等当事者の意見を丁寧に聞くことにより、誰もが利用できる付加設備の開発を行う。
- 姫路城や松本城など現存する木造天守閣にも転用可能な新技術の開発に努力する。
- 再建後は元来の姿を見ることができるようになり、介助要員、補助具を配置することなどにより、今より快適に観覧できるようにする。



なばなの里レストランにて
名古屋市政報告 7月22日



第6回 クラシックカーフェスティバル 名古屋城前出発 6月3日

名古屋市議員

田山ひろゆき

事務所

- 事務所／〒462-0841 名古屋市北区黒川本通4-23
- 電話／052-911-1736
- FAX／052-911-1760
- Eメール／tayama@zb4.so-net.ne.jp